

アースによる電場対策

免責

本資料の方法は、電力会社、電気製品・電子機器などのメーカーが保証しているものではありません。本資料は参考にとどめ、対策は完全に自己責任で行ってください。本資料の内容の正誤にかかわらず、本資料に従って行った結果生じた、感電、火災、機器や電気回路の破損、その他の事故などの一切の損害に、本資料の作成・配布者は一切の責任を負いません。

1. アース端子（電場を逃がす先）を確保する



①アース端子

これがあれば簡単かつ安全にアースが取れます



出典 <https://www.youtube.com/watch?v=EsGvP1RSSUE>

②コンセントから取る専用機器

「エルマククリーン」などの機器を使うと簡単にコンセントからアースを取れます。（アースを取る理論は③と同じです）

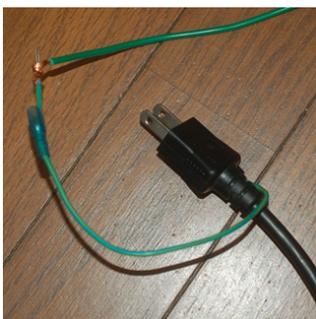


出典 <http://amzn.to/1R3GbD8>

③アースラインから取る

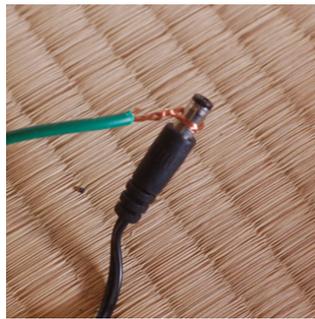
簡易検電器を使ってコンセントのアースライン（灯りがつかないほう）を調べれば、理論上そこからアースがとれます。しかし極性を間違えると危険な上、本来アースラインはこのような使い方を想定したものではありません。

2. 機器側のアースの取り方



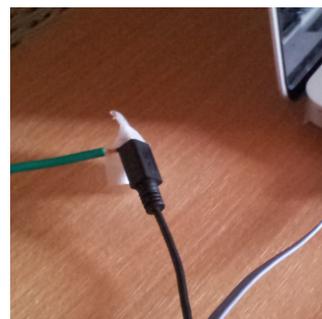
①アース付きプラグ

これが付いている製品なら、アースと接続するだけで、その機器の電場をすべて逃してくれます。



②直流電源のGND

プラグにアースが付いていない場合で、ACアダプタがある機器の場合は、ACアダプタの機器側端子の、GND(最も外の金属部)をアースしてください。その機器の電場が逃せます。



③USBなど外部端子のGND

②のようにアースを取れない場合、機器にある外部端子のGND(最も外の金属部)をアースと接続してください。写真はパソコンに繋いだUSBケーブルのGNDをアースしています。



④ストーブなどは金属部からストーブなど端子も何も無い電化製品は、金属部分からアースを取ります。写真は、ネジ止めしてあるところを利用しています。



⑤コンセントはアルミホイルで巻いてアースを取る

機器ではなく、発生源であるコンセントケーブルそのものの電場が周りに帯電するのを防ぎたい場合は、ケーブルをアルミホイルで巻いてアースを取ります。

(高価ですが専用のチューブも売られています)

3. 器具と材料 (参考)



- ・アース線
- ・電線コネクタ
(アース線を分岐・延長するのに使う
一番多く繋げられる4端子用だけあれば十分)
- ・ラジオペンチ
(アース線の被覆を剥くのに使う)
- ・+ドライバー



- ・どうしてもコンセントからアースを取りたい場合は簡易検電器

左はアネックス(ANEX) ペンシル型LED検電ドライバー
<http://amzn.to/1KZJ9oO> (定価600円・本資料作成時点)